

千葉県長生農業独立支援センター協議会は3月上・中旬の3日間、短期農業体験研修を開いた。農業に関心や就農意欲のある5人が県内外から参加した。

研修は、新規就農を考える

## 就農を後押し

## 2泊3日研修

千葉・長生農業独立支援センター協議会

人を対象に2泊3日で農業を体験してもらい、本格的な実践研修に向けて農作業の具体的なイメージを持ってもらうことが目的。今回で2回目。

JA長生管内の主要特産物のトマト、ネギ、梨の生産者



参加者が先輩就農者の圃場（ほじょう）を訪ねる（千葉県長生村で）

を訪れ、ベテラン農家や新規就農者から話を聞いた。

また、3コースに分かれて一宮町、長生村、白子町の農家で栽培管理作業を体験し

た。トマトとネギの選果場では出荷調製作業もし、作業後に協議会関係者らと農業の現状や就農に対する疑問、課題、要望などを話し合った。

埼玉県から参加してトマトの誘引作業をした参加者は、一緒に作業した90歳超のベテラン農家の作業速度に驚いていた。

参加者からは「休みを使って気軽に実際の農作業を体験できた。就農を考える上で大変参考になった」との声が上がった。

協議会は、今後も新規就農支援に向けた相談会やイベントへの参加・見学、体験研修などの開催を計画している。

（千葉・長生）